

年収 550 万円以上で即内定！PR TIMES のプロダクト開発に挑む、 27・28 卒向けハッカソン受付開始

2026年8月12日(水)～14日(金)の3日間、PR TIMES 本社で開催



プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証プライム、名証プレミア：3922）は、2026年8月12日（水）、13日（木）、14日（金）の3日間、2027・28年卒業予定のエンジニア志望学生*を対象とした「PR TIMES HACKATHON 2026 Summer」を PR TIMES 本社（赤坂インターシティ）で開催します。一次募集締め切りは2026年7月5日（日）23:59まで、下記フォームより本日6月2日（火）からエントリー受付を開始いたします。

*大学、大学院、短期大学、専門学校、高等専門学校生が対象です。

エントリーはこちら：<https://tayori.com/f/prtimes-hackathon-2026-summer-entry>

思考力と推進力が試される、AI 時代のプロダクト開発

コードを書く業務は、生成 AI が担う時代になりました。実装のスピードと質は大きく変わり、「書ける」だけでは差がつきにくくなっています。その分、自ら問いを立て、自走できる力がより重要になってきています。何を作るべきかを定義し、ユーザーの課題を見極め、チームとして方向を揃えて前に進む。技術をビジネスと繋げながら、答えのない問いに向き合い続ける力です。

このハッカソンでも AI の活用を推奨しています。AI で実装のスピードを上げることで、「何を作るか」を定義し、チームとして判断を重ねながら前に進むことに集中できます。その過程こそ、今のリアルなプロダクト開発に近い体験であり、これからのエンジニアに求められる実践そのものです。

PR TIMES のプロダクトを、チームで開発する3日間！

PR TIMES ハッカソンは、当社開発職の新卒採用と、技術向上に向けて取り組むエンジニア志望の学生たちに向けて成長機会の場をつくることを目的に2016年より開催している内定直結型のハッカソンイベントです。ハッカソンで発揮された技術力や、人事評価など複数の観点から、個人賞を受賞された方には年収 550 万円以上の中途採用基準での内定をお出しします。

また、PR TIMES ハッカソンは、これまで当ハッカソンを通じて入社したエンジニアを中心に企画・運営しています。実際にハッカソンを経験した社員だからこそわかる、ハッカソン特有の躓きやすいポイントに寄り添いながら、限られた時間の中で最大限アウトプットできる環境を整えます。

今回は当日発表されるテーマに沿って、PR TIMES のプロダクト開発にチームで取り組んでいただきます。何を作るべきかをゼロから考え、企画・設計・実装・発表までを一気通貫で行うプログラムです。テーマをあえて当日発表と

するのは、実際のプロダクト開発と同様に、「何を作るか」を問うところから経験してほしいという考えからこのような設計にしました。

前回参加者からのコメント

- ・営業の方に実際にヒアリングする機会があったのでより実際の場面についてイメージを持ちながら進めていったことが面白かったです。
- ・技術とビジネスの両方の視点で課題を解くことができ、メンターさんのサポートもありそこまで詰まらずに、安心してかつスピーディな開発を体験できました。

PR TIMES HACKATHON 2026 Summer について

<開催スケジュール>

今回のハッカソンは2026年8月12日（水）～8月14日（金）の3日間、PR TIMESの本社で開催します*。以下、当日までのスケジュールをご説明いたします。

*遠方からご参加の場合は、往復の交通費とハッカソン期間中の宿泊費（一部上限あり）を当社で負担いたします。エントリーしていただいた後、当社より該当者へご案内いたします。



参加確定者向けの事前説明会でスタートダッシュを後押し

ハッカソンへのご参加が決定した皆様を対象に、2026年7月30日（木）14時より説明会を開催いたします。本説明会では、会社概要やハッカソン当日のスケジュール、評価基準の詳細についてご説明いたします。

テーマは当日発表となりますが、PR TIMESの事業・顧客課題についてのインプットの場としてもご活用ください。テーマを聞いた瞬間から全力で動き出せるよう、参加者の皆様のスタートダッシュを後押しします。

※事前説明会へ参加できなかった方には録画を共有させていただきます

チーム開発や懇親会で同世代のエンジニアと交流

8月12日（水）、13日（木）、14日（金）の3日間はPR TIMES東京本社オフィスまでお越しいただけます。当社で事前に選定したチームメンバーの発表後、参加者の皆様にはチームごとにわかれてアイスブレイクを兼ねたコンテンツを行い、お互いに打ち解けていただけます。その後、それぞれのチームで設計から開発、成果物発表までを行っていただけます。



PR TIMES で働く現役エンジニアによるメンタリング

設計や開発の際には、各チームに当社のエンジニアが1人以上つき、自由に質問や相談をしていただくことができます。

最終日は、成果物の発表と表彰式の後は懇親会も開催します。当社のエンジニアと交流しながら、エンジニアのキャリアなど、ざっくばらんにご相談いただくことができます。

<表彰について>

個人賞

ハッカソンで発揮された技術力と、2日目に実施する個人面談による人事評価など複数の観点から「個人賞」を選出いたします。受賞された方には当社開発職の卒業年度（2027年度もしくは28年度）の内定を年収550万円以上の中途採用基準でお出しします。

※個人賞は内容によって複数名の表彰や該当者なしとなる可能性もあります。

※個人面談では現在取り組まれている活動やキャリア像などについてお伺いする予定です。

チーム賞

開発していただいた作品の技術レベルやコンセプト、完成度などの観点から「チーム賞」を選出いたします。最優秀チームには、実用的な選べる景品をご用意いたします。景品の詳細については後日案内させていただきます。

<申し込み方法>

1. 申込フォームより応募

(一次募集締め切り：2026年7月5日(日) 23時59分、二次募集締め切り：2026年7月26日(日) 23時59分)

以下のフォームより必要事項を明記の上、ご応募ください。申込フォームでは履歴書、ご自身の技術的なアウトプットが確認できる URL (GitHub, Qiita, Zenn など) をご提出いただきます。

申し込みフォーム：<https://tayori.com/f/prtimes-hackathon-2026-summer-entry>

※ご提出いただいた技術的なアウトプットが確認できる URL については、チーム組成の際の参考に活用させていただきます。また、場合により内容の再確認のご連絡をさせていただく可能性がございます。

※技術的なアウトプットが確認できない場合はご参加をお断りさせていただく可能性がございます。

2. 当社からの参加確定連絡とチャットツール招待

申込フォームでご記入いただいた内容を事務局で確認後、参加確定のご連絡とチャットツールへの招待リンクをメールでご案内します。

※事前選考の通過・不通過にかかわらず、ご連絡をさせていただきます。

3. チャットツールに参加

チャットツールへのご参加をもって、参加確定となります。こちらのチャットツールにて、2026年7月30日(木) 14時より開催の参加確定者向けのオンライン説明会に向けた指定のオンライン URL をご案内いたします。

ご参加を迷っている方へ

「PR TIMES HACKATHON 2026 Summer」の開催にあたり、ご参加を検討中の皆様に向けた事前説明会を実施いたします。初めてハッカソンにチャレンジされる方や、当社の事業に馴染みのない方、自分のエンジニアキャリアにとって参加する意義があるかどうか見極めたいという方も大歓迎です。本説明会では会社説明やイベントの趣旨、当日のサポート体制についてお伝えします。不安や疑問点を解消し、ご応募前に当社およびイベントの理解を深める場としてご活用いただければと思います。

本説明会は、2026年6月中旬より毎週、全5回開催いたします。ご都合に合わせてぜひご活用ください。

2026/6/18(木) 12時15分～13時00分

2026/6/22(月) 15時30分～16時15分

2026/7/3(金) 14時00分～14時45分

2026/7/8(水) 16時00分～16時45分

2026/7/14(火) 11時30分～12時15分

事前説明会申し込みはこちら：<https://tayori.com/f/prtimes-hackathon-2026-summer-info>

<開催概要>

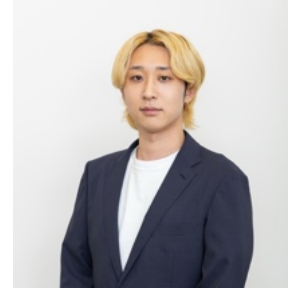
エントリー締め切り	一次募集締め切り：2026年7月5日(日) 23時59分 二次募集締め切り：2026年7月26日(日) 23時59分 ※定員に達し次第、予定よりも早く募集を締め切らせていただく可能性がございます。あらかじめご了承ください。
参加確定者向け事前説明会 (オンライン)	2026年7月30日(木) 14時00分～15時00分 ※ご都合が合わない場合は録画を共有いたします
開催日時	(1日目) 2026年8月12日(水) 11時00分～19時00分 (2日目) 2026年8月13日(木) 10時00分～19時00分 (3日目) 2026年8月14日(金) 10時00分～17時00分
開催場所	PR TIMES 本社 (東京都港区、赤坂インターシティ 8F)
募集定員	30名
募集職種	Web エンジニア
応募条件	以下の条件を全て満たす方 ・2027年または2028年に卒業予定の学生であること(大学、大学院、短期大学、専門学校、高等専門学校生/学部・学科不問) ・就業経験がない方(インターン・アルバイトを除く) ・Web 開発の経験がある方・GitHub のアカウントを所有しているもしくは作成できる方
参加費用	無料 ※遠方からご参加の場合は、往復の交通費とハッカソン期間中の宿泊費(一部上限あり)を当社で負担いたします。エントリーしていただいた後、当社より該当者へご案内します。
よくあるご質問	開催コンテンツの詳細やその他の Q&A は以下のページにて順次更新予定です。 https://tayori.com/q/prtimes-hackathon-2026-summer-faq/

開催に向けて

PR TIMES 事業ユニット 開発部 EM 宮崎 雄也

こんにちは、「PR TIMES HACKATHON 2026 Summer」プロジェクト責任者の宮崎です。プレスリリースが出るまでには、たくさんの努力があります。画面に表示されているものだけでは、その全てを見ることはできません。だからこそ、お客様がどのような想いでこのプレスリリースを形にしたのかを想像することが大切だと思っています。その想像が顧客理解や知識と結びついたとき、プロダクトの可能性が広がっていくと感じています。

このハッカソンでは、プロダクトと一緒に考え、チームで形にする3日間を体験できます。新しい知識・人・技術に触れ、皆さんの将来のエンジニアとしての活躍に繋がるようなコンテンツにしたいと思っています。ご参加お待ちしております。



株式会社 PR TIMES について

PR TIMES (読み：ピーアールタイムズ) は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、「行動者」のポジティブな情報がニュースの中心となり、個人を勇気づけ前向きにする社会の実現に挑んでいます。私たちは人の行動や頑張りの結晶を、その想いを紡いで発表するのがプレスリリースだと考え、企業規模を問わず「行動者」が自ら発信できる、PRの民主化を目指して事業を展開しています。プレスリリース配信サービス「PR TIMES」の利用企業数は 12万4000社 を超え、国内上場企業の65%超に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者 2万9000人超、サイトアクセス数は 月間約9000万PV、プレスリリース件数は 月間4万6000件超、累計で200万件を超えています。全国紙WEBサイト等含む パートナーメディア260媒体以上にコンテンツを掲載しています (2026年2月時点)。



他にも、ストーリーで伝える「PR TIMES STORY」、動画で伝える「PR TIMES TV」、PR活動の設計から実行まで伴走するPRパートナー事業、アート特化型のPRプラットフォーム「MARPH」、「STRAIGHT PRESS」等のニュースメディア事業で、情報発表とその伝播を支援する他、生まれた企画が発表に至るまで前進できるよう支えるタスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」、さらに発表後のお客様対応や情報整理を円滑に行える カスタマーサポートツール「Tayori」 など、「行動者」を立体的に支える事業を運営しています。

また子会社には、スタートアップメディア「BRIDGE」を運営する株式会社 THE BRIDGE、ソフトウェア受託開発を行う株式会社グルコース、SNSマーケティング支援の株式会社 NAVICUSがあります。

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES (東証プライム、名証プレミア 証券コード：3922)

所在地：東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立：2005年12月

代表取締役：山口 拓己

事業内容：- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」 (<https://prtimes.jp/>) の運営
 - ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」 (<https://prtimes.jp/story/>) の運営
 - クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR支援の実施
 - 動画PRサービス「PR TIMES TV」 (<https://prtimes.jp/tv/>) の運営
 - アート特化型オンラインPRプラットフォーム「MARPH」 (<https://marph.com/>) の運営
 - カスタマーサポートツール「Tayori」 (<https://tayori.com/>) の運営
 - タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」 (<https://www.jooto.com/>) の運営
 - 広報PRのナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」 (<https://prtimes.jp/magazine/>) の運営
 - プレスリリース専用エディター「PR Editor」 (<https://preditor.prtimes.com/app/>) の運営
 - Webニュースメディア運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>